

平成22年度鈴鹿市立天名小学校研修計画

研究主題	自分の思いや考えを伝え合う子どもをめざして ～国語科を中心にして～
教科 領域等	国語科

1 主題設定の理由

- (1) 学校教育目標の具現化を図るため
- (2) 昨年度までの取り組みを通して見えてきた児童の実態を踏まえて
- (3) 今日の教育的課題と学習指導要領の改訂を踏まえて

2 子どもにつけさせたい力

- (1) 意欲的に取り組む学習態度と話し合い、聞き合える学習規律
- (2) 「話すこと・聞くこと」における基本的な力の定着と「伝え合い」を通して考えを深め合っていく力
- (3) 文章を正確に読み取り、豊かに表現する力
- (4) 基礎的な言語事項

3 本年度の指導の重点

- (1) 話し合い、聞き合える学習集団づくり
自分の発言を受け止めてくれる教師・仲間がいて初めて話すことができる。このような学習集団を基盤にして、目的や相手に応じた「話す・聞く」力を身につけたり、学習形態を工夫したりすることで、生き生きと伝え合うことができるだろう。
- (2) 子どもたちの思いや考えを引き出すような授業づくり
子どもたちの「話したい・聞きたい」という思いを駆り立てるような題材・課題・発問等の学習内容や学習展開を工夫することで、主体的に伝え合い、より考えが深まるだろう。
- (3) 日常的な基礎学力の育成と言語活動の充実
基礎学力が身につけていないと学習意欲を損なうことにもなりかねず、この定着は必要不可欠なことである。日常的に基礎学力や伝え合う力を伸ばす機会を多くもつことで、自信をもって学習に臨むことができるだろう。

4 具体的な方策

- (1) 話し合い、聞き合える学習集団づくり
 - 思いを出し合える仲間づくりを目ざして、レポート研修を実施
 - 提案授業（人権）・公開授業（人権）の実施
- (2) 子どもたちの思いや考えを引き出すような授業づくり
 - 提案授業（国語科）・公開授業（国語科）の実施
 - 子どもたちの実態に基づいた教材研究
 - 課題や発問の工夫、授業展開の工夫
 - 根拠をもとにした自分の考えを表現
 - 自分の考えをより確かなものにするための「書く」活動
 - 互いの思いや考えを認め合う場の設定
 - 「話す」「聞く」「話し合う」ための知識・技能の育成
 - 「伝え合い」に合った学習形態（グループや場）の工夫
 - 音読の充実
- (3) 日常的な基礎学力の育成と言語活動の充実
 - 基礎学力の把握
 - 学力補充の取り組み
 - 「話し名人・聞き名人」の定着
 - 「声のものさし」
 - 学習規律の共通理解
 - 朝の学習（読書・教師の読み聞かせ等）
 - 言語環境の整備

- 漢字の前倒し学習
- 日常生活での「話す」「聞く」場面への活用
- 家庭学習